



〈活動にやりがいを感じる瞬間はどんな時ですか〉

- ・救命講習で、若い女性が指導していても、熱心に受講してくださる様子を見たときには、やりがいや責任を感じます。
- ・感謝してもらえぬ事が嬉しいです。
- ・こども園に毎年花火教室などで伺います。年長になると質問に対する答えがわかっている子どもがいて、年少からの積み重ねで聞いた内容を覚えていることがわかり、歴代の隊員の活動が積み重なっていると感じます。

〈上下関係は厳しいですか〉

- ・女性消防隊に上下関係はなく、風通しの良い環境で活動しています。

〈市民の皆さまに心掛けて貰いたい事や、伝えておきたいことは〉

- ・救命処置が必要な状況にならないように、健康と安全に気を付けていただきたいです。
- ・全国でも女性消防隊は増えていきます。みんなで、楽しく学べる場です。費用も掛からないため、是非参加していただければと思います。

- ・女性消防隊の活動目的としては、災害発生時に自助と共助ができる動ける人を確保していくことであるため、市民一人ひとりが防災意識を高めていただきたい。

〈行政や議会に対して意見や要望はありますか〉

- ・コンビニなどにAED設置の普及を検討してほしい。また、設置場所をアプリなどで見られるようにしてほしい。
- ・話しかけやすい、相談しやすい議員になっていただき、行政と市民のパイプ役になっていただきたい。

ご協力ありがとうございました。

〈取材協力〉

女性消防隊「ひまわり」

後列右より

二俣 祐子さん

安間 綾子さん

山崎 文香さん

前列右より

神部 香里さん

田端沙也香さん

